

学校自己評価表

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

目次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等・・・1	基準6 教育環境・・・18
基準2 学校運営・・・2	基準7 学生の募集と受け入れ・・・19
基準3 教育活動・・・3	基準8 財務・・・20
基準4 学修成果・・・5	基準9 法令等の遵守・・・21
基準5 学生支援・・・12	基準10 社会貢献・地域貢献・・・22

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
1-1	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められ、実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	<p>【学生の手引き】 セムイ学園の精神、特性をスチューデントマニュアルに掲載し、新入生オリエンテーションにて通学過程の全学科に説明。</p> <p>【校長講話】 1. セムイ学習法 2. ストレス・マネジメント 3. リベラルアーツ 世界史の中の日本</p> <p>【特性】 朝礼時に音読を実施し、あるべき教育者像を周知している。</p> <p>【セムイ体操】 朝礼時にセムイ体操を実施し、居眠り防止のために授業中にも実施</p>
1-2	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	<p>【教育目標】 教育課程編成委員会における意見をもとに柔軟に対応している。また、学科毎にホームページ上で教育目標などを掲載し人材育成に取り組んでいる。</p> <p>【業界のニーズへの対応】 教員は各職能団体、学校協会の研修、学術研修に積極的に参加して最新の情報、技術を入手して求められる人材育成に取り組んでいる。</p>

1-3	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	教職員にはスチューデントマニュアルを配布しており、学外にはホームページ上で公表している。
[評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

- ・学校案内 2018、2019・東海医療科学専門学校ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp/kagaku/>
- ・平成 30、31 年度スチューデントマニュアル

基準 2 学校運営

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
2-1	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	整備されている。就業規則、賃金規程等の諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。
2-2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。10月に事業計画の中間報告を行い、事業計画の進捗状況などについて報告と協議を行っている。
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、意思決定がなされている。

2-4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。
[評価] ※ 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・令和1年度 セムイ学園 事業報告書、令和2年度事業計画書

基準3 教育活動

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
3-1	教育目標・育成人材像は明確になっているか	4	セムイ学園の精神を学生マニュアルに掲載し、新入生オリエンテーションにて通学過程の全学科に説明。
3-2	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編成委員会を実施（2回/年） 学校関係者評価委員会（1回/年）
3-3	教育課程は、適切に編成されているか(体系性)	3	各学科ともに概ね科目、年次配当は妥当であるが、指定規則の改正に伴い理学療法科、作業療法科ではカリキュラムを変更した。 柔道整復科においては、取得可能な資格を増やすことができるよう、計画的に準備を進めている。
3-4	各科目はカリキュラムの中で適切な位置付けをされているか	3	各学科ともに概ね科目、年次配当は妥当であるが、学校内でのコマ数に差があるため調整して変更することも検討している。

3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	校内での基準に沿って実施している。
3-6	進級、卒業の基準は明確になっているか	4	校内での基準に沿って実施している。
3-7	教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	専門職団体主催の教員研修に応募したが(理学療法科1名、作業療法科1名)2名が参加することができた。 FD研修を実施していただき、多くの教員が受講して授業等に活用している。
3-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	各期終了時に各クラス単位で実施。
3-9	授業評価が授業改善に活かされているか	3	評価が低い場合には各学科長より面談等を実施。 非常勤講師で学科長からお願いしにくい場合は、教学部が対応することになっている。
3-10	国家試験等の指導体制は確立されているか	3	職業教育であるため資格取得が前提である。 教員は全員が国家試験経験者であるが、学習方法に多少の違いはあるが、概ね教員がチューターとなりサポートしている。 個別指導が充実している学科、早朝より登校させて開講している学科もあった。 また、各学科とも毎年バージョンアップをしている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切			

根拠となる規定、資料等：

- ・平成30、31年度スチューデントマニュアル

基準4 学修成果

教学部

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	就職を希望する国家試験合格者においては、概ね把握できている。報告がない生徒においては把握ができていない。
4-2	中退率の低減が図られているか	2	日頃から生徒の状況を早期に把握するために担任の方々に短時間でこまめに面談を行うようにしていただいている。しかし、前年度と比較して4.2%増加した。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	各学科の教員がこれまでのデータから、模擬試験において客観的な数字をもとに生徒に指導を続けることで学校全体で前年度と比較して2.0%向上することができた。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	臨床実習先や卒業生からの情報を共有し就職活動サポートの1つとしている。就職活動は基本担任が取りまとめを行うが学科教員全員でサポートを実施。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	基礎学力の向上と授業の理解度を深めるため、授業後に補習(特に工学系を中心に)を毎週実施し、基礎学力の底上げを行っている。 また、学生の面談も一昨年よりも機会を増やし対応を継続して行っている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	授業後の補習の実施回数を増やし知識の底上げをおこなった。 また、学内教員でも役割分担を行い学科全体でのサポート体制で臨んだ。第33臨床工学技士国家試験の合格率が100%であった。

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	成績良好な学生に対しては早い時期から就職活動するように促している。成績がおもわしくない学生に関しては、学生への学習支援(個別指導等)を行い、成績向上後に就職活動を随時解禁している

4-2	中退率の低減が図られているか	2	平成29年度退学者17名/209名 (8.1%) 平成30年度退学者19名/209名 (9.0%) 平成31年度退学者22名/212名 (10%) 各担任が面談を行い、学生の様子をこまめにチェックしている。 適正な学生募集により中退率低減を目指す。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	グループワークだけではなく、特別授業・低学力者対策・ペア学習等のAL (アクティブ・ラーニング) などを行い、合格率は全国平均を上回る結果となった。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	キャリアサポートセンター (学生支援課) と協力し、2年次・3年次にそれぞれ就職指導の講義を行った。
4-2	中退率の低減が図られているか	4	新年度入学者に対して、入学3か月前から月1回 (全3回) 「入学前学習会」を開催し、入学後に3年間を共に過ごす学生との交流を図った。また、「リフレッシュ授業」として適宜 (入学後や長期休暇明け) に、遠足・バルバレーなどのレクリエーションを行い、モチベーションの維持を図った。

4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	受験者の合格率は100%であり、全国平均も上回った。 (87.3%) 今年度は全国的に合格率が向上し、適切な難易度の問題となった。合格者数は東海3県の専門学校の中では一番多い数を維持している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	令和元年度もキャリアサポートセンター(学生支援課)による就活講座を行い夏休み前から施設見学や就職に向けた取り組みを続けた。今年度も整形外科への就職が多くなっている。就活に動き出すタイミングが年々早くなっており、国家試験対策学習の面においてもよい影響を与えている。
4-2	中退率の低減が図られているか	1	学業不振、欠席の多い学生には担任教員による指導、三者面談等行い、中退防止に努めている。

4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	新国家試験に移行したが難易度は易化傾向であり、合格率も、全国平均を上回ることができた。今後も国家試験対策について改善を行いながら進め、結果を伴っていくように努めたい。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	キャリアサポートセンター（学生支援課）と連携して行っている。国家試験の結果を待ってから活動する学生がおり、卒業後の就職となるため早めの活動を促している。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	目標設定、個人面談、声掛け等により学生の状況把握に努めている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	2	前年度80%から76%に低下した。国家試験対策の拡充が必要である。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか		※令和元年度開設のため卒業生はおりません。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	学生相談や学習面に不安を抱える学生のサポート体制を整え行ってきた。3名の退学者が出たが、全体の1割以下に抑えることができた。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか		業者模擬試験の実施 ラインワークスで過去の国家試験問題を配信し、1年生で押さえておきたい内容を専任教員で分担し特別講義を実施した。 ※令和元年度開設のため卒業生はおりません。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・社会福祉科（昼間課程）

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	パートナーシップ協定を締結した法人をはじめ、学生の要望も踏まえた見学実習を、学校の教育活動に限り取り入れている。

4-2	中退率の低減が図られているか	3	随時、クラス担任による面談を行っている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	2	国家試験の合格率について、平成30年度は100%であったが、平成31年度は80%に減少した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

基準5 学生支援

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアコンサルタントと随時連携をとりながら就職試験対策の実施ができています。また、履歴書の添削、面接練習においては学内教員も行い学生の就職サポートに努めた。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	出席状況がよくない場合など、保護者に連絡が必要な場合は随時、連絡している。また年1回の保護者会を実施し学校生活の報告を行っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	国家試験に不合格であった学生に対しては授業に参加させる聴講制度を実施。 また、就職先でのトラブルや悩みがあった場合、学校での面談や就職の斡旋を実施している。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	非常勤講師とも連携をとり、支援が必要な学生を早期に把握。時間のある教員は、授業後に各科目の補習を実施している(個別指導)。また生活指導における面談はほぼ毎日時間が許す限り実施した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリア講習だけでなく各学生の希望分野への支援を全教員で行っている。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	ウォーニング該当者や成績不良者の保護者には随時担任より連絡されている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会主催の勉強会を3回/年行った。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	ウォーニング該当者や成績不良者への指導は随時担任より行われ、改善ない場合は役職者による面談も行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアコンサルタントと連携し、情報提供・就職指導・試験・面接の練習等を行った。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	年に2回(5月・10月)に3学年で保護者会を行った。(新入生は入学前) 学年ごとの分科会や保護者との個人面談を行って

			情報交換を行った。また、必要に応じて保護者に学校に来てもらっての面談も行った。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会を組織しており、年4回の卒業生を対象とした卒業後教育勉強会を行った。また、転職などの相談には適宜乗るようにしてあり、求人情報の提供を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんに行われているか	4	担任を中心にクラス運営を行い、授業態度・生活態度の指導を行った。心配な学生には面談を実施し、必要に応じて保護者を呼んでいる。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	柔道整復科は例年一部の学生の就職先が決まっており就活をする必要のない状態の学生がいる。半面就職希望の学生も多くキャリアコンサルタントと連携しながら、就職先、学生と就職先の間に入り連絡を取りながら、高い就職率を目指し、支援している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生について面談指導が再三なされており、適宜保護者への連絡、三者面談など行い学業に専念できるよう対応している。

5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	資格取得者の卒業後研修が定期的に行われている。資格未修得の卒業生には聴講制度、国家試験対策、受験支援を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんに行われているか	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生については教員による生活面、学習面での面談指導が行われている。保護者への連絡を行い、三者面談など適宜行い学業に専念できるよう対応している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアコンサルタントとの連携だけでなく、学生と個別相談を行い対応している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	大学卒業過程であることから、特に行っていないが、必要に応じ対応することは可能。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	2	卒業生主催の研修会、勉強会に教室の貸し出しを行っているが、学科主催では行えていない。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんに行われているか	4	出席率が悪い学生にウォーニングを行っている。成績がおもわしくない学生には担任、副担任が直接指導をしている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアコンサルタントと連携し、2年次、3年次に就職指導の講義を実施する予定。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	年1回保護者会を実施している。学生の学校生活における問題は早めに父母と連携を取っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか		※平成31年度開設のため卒業生はおりません。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	担任を中心にクラス運営を行い、授業態度・生活態度の指導を行っている。学習面等で心配な学生には面談を実施し、必要に応じて保護者への連絡を行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切			

・社会福祉科 (昼間課程)

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	エントリーシートの添削、面接練習を学科教員で行い、学生をサポートした。また、キャリアコンサルタントとも連携をとりながら就職対策を行っている。

5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	3	大学卒業以上のクラスであるため特に行っていないが、必要であれば実施する体制はできている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	特に転職相談などの支援を行っている。国家試験不合格者に対しても学習相談を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	クラス担任を中心に行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・教務 学生支援課

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	日本学生支援機構の奨学金のみならず、教育訓練給付制度の講座登録、また学校独自の奨学金制度も設けている。
5-2	奨学金等の管理はできているか	4	希望者への説明会、申し込み手続きから事務処理も滞りなく実施されている。また学費減免制度など新しい制度への対応も既に開始している。
5-3	保健室の管理、健康診断の実施等、学生の健康管理はできているか	4	保健室は学生のプライバシーや感染対策を重視し、すべて個室にて対応している。また健康診断を年1回実施し、必要な検査やワクチン接種なども適切に行っている。
5-4	学生相談に関する体制は整備されているか。	4	臨床心理士資格を持つカウンセラーによる相談室を年間通じて定期的の開室し、プライバシーにも配慮した予約方法で学生の相談に応じている。

基準6 教育環境

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
6-1	設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	学科からの教育機器、機材購入要望書に基づいて、購入検討を行い適宜、機具機材を購入し、設備の充実を図っている。
6-2	防災に対する体制は整備されているか	3	備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の飲食料を1学年分確保し、学校全体で2学年分の備蓄を確保した。今後は、簡易トイレなどの衛生用品の備蓄の充実を行っていく。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

基準7 学生の受け入れ募集

番号	点検項目	評価	点検項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4	グループ校を含め過去3年間に入学実績のある高等学校を中心に288校を指定校とし、指定校推薦入試の案内を行うとともに在校生の状況、卒業生の進路等の報告を行った。 また、資料請求などのあった入学実績のない高等学校へも随時訪問し情報提供を行っている。
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 ③ 留学生には留学生特別入試で対応している。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。
7-3	学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレット等で情報提供を行っている。
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	近郊の競合校と比較して同程度になっている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠となる規定、資料等：令和元年度情報提供実施高等学校一覧 ・学校案内、入学生募集要項 ・ホームページ

基準8 財務

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	中長期を狙い財務安定基盤の確立の為、借入負債の軽減を図っている。新規の借入は行っていない。単年度の黒字化を維持している。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4	予算に対する執行状況については半期ごとにチェックし大きく乖離する項目については協議の上、補正予算を行なっている。
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	公認会計士の往査をほぼ毎月、年間延べ日数20日間を受け財務状況のチェックを受けている。期末には監事による会計監査を受けている。
[評価] ④:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

- ・令和1年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	養成施設自己点検表に基づき点検し、改善をしている。内部監査は本校職員の監査員4名と行政書士1名（学外者）で、6月と11月に教学に関する事項を重点的に行った。監査結果は理事会で報告し、学校全体で問題点の共有、対応策を協議共有し、コンプライアンスの徹底を図っている。
9-2	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、改善を図っている。
9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護の基本方針として、情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティを確保している。 個人データにアクセスする必要がある限られた人のみアクセスできる環境にし、誰がアクセスしたかを追跡できるようにログを残している。また、アクセスに必要なパスワードは、定期的に変更を行っている。 情報機器について学内で使用する個人PCについては届出制度の徹底、USBについては外部からの持ち込み制限をかけている。個人情報に対する教育の徹底をはかっている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

・令和1年度 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	医療現場の臨床工学技士の方を通じ、学校を勉強会などの場として利用してもらえるよう働きかけをおこなった。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	現在、日本赤十字社による献血活動の普及を行っている。献血を広く知ってもらうため、授業後に献血センターの見学などを取り入れることで多くの学生の献血の協力がえられた。また、愛知県臨床工学技士会主催のイベントに対しても学生案内（募集）を行い、ボランティアスタッフとして参加した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	文化祭時に、この地区の方を招待し体力測定や健康指導を行っている

10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	各施設から依頼のあった夏祭り等のボランティアに積極的に学生を参加させている。 学科から依頼しているものは無い。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	学科の教員が参加している勉強会の開催を当校の教室等を使用して行った。また同窓会と提携している勉強会・学会の開催をサポートした。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	精神科病院・老人保健施設・有料老人ホーム等の施設でお祭りや行事イベントにボランティアとして学生を送った。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	中・高生に対して柔道整復師の職場体験、説明を受け入れている。また教員が高校に出向き柔道整復師の仕事について紹介する取り組みも行っている。学校ジムにおいてオリンピック強化指定選手などのアスリートへの支援を行っている。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	高校などの部活に対して学生がボランティアでトレーナー活動に行くこともある。また学生によるジムトレーニングなどの活動も行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	サポートルーム「ひまわり」を運営し、そこで専任教員が発達に遅れや悩みのあるお子さん、ご家族の指導している
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	各施設から依頼のあったボランティア活動に参加するよう促している。必要があれば教員も同伴する。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・看護科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	実習病院先との教育連携 1 病院ではあるがパートナーシップ協定を結び交流を図った。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	東京オリンピックに向け、通訳や看護補助（ボランティア）の説明会を行った。 災害ボランティアコーディネーターの資格取得の説明を行い、それによって数名の学生が資格を取得している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・社会福祉科（昼間課程）

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	「パートナーシップ協定」によるスキルアップ支援として、本校の国家試験対策が受講できるなど、福祉を支える人材育成を始めとする社会貢献を行っている。

10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	障害者支援施設や特別養護老人ホーム等の夏祭りや行事積極的に参加するよう情報提供を行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			